議 会 報 告 会 報 告 書

令和８年９月４日

小田原市議会議長
井　上　昌　彦　　様

報告者　議会広報広聴常任委員長
中　野　正　幸

議会報告会（議場見学会）の結果について、次のとおり報告いたします。

日　　時	令和８年７月２日（木曜日）午前９時 25 分　～　午前 10 時 35 分			
場　　所	小田原市役所　議場			
出 席 者	菜　畑　寿一朗	寺　島　由美子	楊　　隆　子	杉　山　三　郎
参加人数	26 名（下曽我小学校６年生児童 23 名、担任教諭３名）			
内容	小田原市議会基本条例では、市民の意見を議会の審議や政策立案に生かすため、議会報告会や市民アンケートのほか、多様な媒体を活用し、広報広聴の充実を図るものと定められています。 そのような中、これまで要望に応じて対応を行ってきた議場見学会は、議会報告会と同様に議会活動の報告という広報の面と、意見交換による広聴の面があることから、令和３年度からは議会報告会の一つの形として以下のとおり実施しました。 内容 ・市議会議員から児童に対し、市議会や議場に関する説明 ・議長室や傍聴席といった、議場以外の施設の見学 ・議員に対する質疑応答			
主な質疑・意見等	裏面参照			
そ の 他				

＜主な質疑等について＞

【質疑】小中学校を一貫校にすることのメリットは何ですか？ **【回答】**この話が、なぜ出たのかを話したら１分たってしまった。
【質疑】子育てや少子化への対策は何かありますか？ **【回答】**皆が安心して誰もが幸せに暮らせるように一つ一つ努力する。
【質疑】差別への取組は何かありますか。 **【回答】**人生の根底の大事な部分である。子供も大人も同じ個人であること。議員個人も自分の知人にも語っています。
【質疑】人口減少対策は？ **【回答】**子供のときから高齢者になっても安心して暮らせるように一つ一つの施策を大切に。
【質疑】要望をどれだけ実現していますか？ **【回答】**様々なかたちで要望が出され、困っている人が困らなくなるように、より住みやすくするように話し合いを実現できるようしています。
【質疑】小中一貫になるメリットはありますか？ **【回答】**小学校～中学校と多学年との交流、先生同士も交流できる。地域との交流がしやすくなるなどがあります。
【質疑】小中一貫校にするには人数で決めているのかですか。 **【回答】**中学校区で決めているので、人数で決めている訳ではありません。今後の地域の説明会でも聞いてほしい。